

## 平成29年第3回 高千穂町議会定例会

## 一般質問通告内容集約書

高千穂町議会事務局

【 4名 6件 】

質問日	順	質問者	件数	件名	頁
10月20日 (金) 10:00~	1	戸高清次 議員	2件	1. 消防操法大会の日程の変更と各部の実情に応じた備品導入の支援について 2. 開業医の支援について	1
	2	本願和茂 議員	2件	1. 災害時指定避難所の拡充について 2. 公共施設における温暖化対策について	3
	3	磯貝助夫 議員	1件	1. 神話の里高千穂マラソン大会の再開について	5
	4	安在昭則 議員	1件	1. 災害時における緊急避難場所について	6

順	質問者	件名	質問の要旨	質問相手
1	戸高清次 議員	1. 消防操法大会の 日程の変更と各部の 実情に応じた備品導 入の支援について	<p>現在、夏季点検及び操法大会は、各地区分団において、午前中に地区予選を行い、午後から町大会を行うこととなっております。</p> <p>毎年、午後から30℃を越える炎天下の中で、町操法大会が開催されていますが、各部の団員におかれましては、地区予選を勝ち抜くために、大会当日の早朝に練習される部もあるとのこと。</p> <p>そこで、消防団員の熱中症対策も含めた健康維持を考慮して、地区大会を別の日程で行い、さらに町操法大会を午前中に行うことで、午後から見られる夏特有の降雨も避けられるのではないかと考えます。</p> <p>そして、日曜日に大会が行われていますが、団員の疲労を考えると、土曜日に町操法大会を行っていただきたいと団員から多くの声が寄せられています。</p> <p>また、部によっては操法備品（操法用ホース）の購入について、小規模な公民館（後援会）に支援をお願いしても、予算が限られているので、対応が困難な状況にあるとのこと。</p> <p>① 町長のトップダウンで、消防団員の健康を考慮して、町操法大会を午前中の開催に変更すべきではないか。</p> <p>② 町操法大会を土曜日に変更することはできないか。</p> <p>③ 各部の後援会の状況を把握し、操法用ホースなど備品購入については、支援策が必要ではないか。</p> <p>以上、3点について町長に伺います。</p>	町長

順	質問者	件名	質問の要旨	質問相手
1	戸高清次 議員	2. 開業医の支援について	<p>町内には、多い時で、10の病院、医院などがありましたが、現在、町立病院、国見ヶ丘病院 他4つの医院に減少しています。しかも、田原診療所の先生は辞められる予定とのことです。</p> <p>町民が安心してこの地域で暮らしていくためには、町立病院の医師の確保も重要ですが、地域医療を担っていただく医師の確保を行い、開業していただくことで、地域に根付いたかかりつけ医になっていただけるような環境づくりと支援策が必要だと考えます。</p> <p>また、開業医が増えることで、町立病院の待ち時間の短縮につながることとなり、町立病院にとっても医師、医療関係者の負担軽減にもなるのではないかと考えます。</p> <p>町立病院に勤務されている内科の医師は高千穂町での地域医療を希望しており、開業を目指して準備を進めていたところ、法務局跡地が目指す地域医療として最適だと考え、そこで開業できないか病院事務長を通じて、役場内部で構成される法務局跡地活用検討委員会で、診療所として活用できないか提案したが、他に活用の考えもあることから優先順位が下位となるだろうと本人に伝えたとのことです。</p> <p>その回答により、医師は高千穂町での地域医療を断念され、鹿児島で開業することになり、本年度で退職されるとのことです。</p> <p>町民にとっては、非常に残念な出来事であり、町としても医師の確保が困難な中、大きな損失だと考えます。</p> <p>① 開業を希望する医師の理念、方針、構想を把握していたのか。</p> <p>② このような重要な案件について、議会に相談し意見を聞くべきではなかったのか。</p> <p>③ なぜ、法務局跡地が優先順位が下位なのか、詳しく説明していただきたい。</p> <p>④ 今後の医師の確保と開業医の確保の取組みと支援策はどのように進めて行くのか。</p> <p>以上、4点について町長に伺います。</p>	町長

順	質問者	件名	質問の要旨	質問相手
2	本願和茂 議員	1. 災害時指定避難所の拡充について	<p>昨年9月、第3回定例会にて熊本地震後の対応・対策について質問しましたが、その後の対応も含めて今回の質問をいたします。</p> <p>先月の台風18号被害状況は、町長の行政報告の通り人的被害はなく一部、民家を含む農地や林道町道への被害を残し通り過ぎていきました。</p> <p>台風の規模はもちろんですが、それ以前の天候や降水量で被害状況は大きく変化すると考えられ、ここ数年のゲリラ豪雨被害状況などからもわかるように想像を超えた状況が、日本中いどこで発生してもおかしくない状態となっています。</p> <p>指定避難所に避難される方の多くが高齢者であり、備えあれば憂いなしの言葉を最もよく理解している方ばかりですが、今では備えもままならず避難がやっとなようであります。</p> <p>過疎化・少子高齢化の深刻さをふまえたうえで、今後の大規模災害を見据えた災害時指定避難所の拡充について町長の考えを伺います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町内各公民館の指定避難所化（公民館立地条件が、危険箇所である場合の改善策）</li> <li>・指定避難所に敷布や毛布の常備化（高齢者は持ち込み困難）</li> <li>・風水害、地震被害にも対応した公民館への改築及び新築に伴う補助金の創設</li> <li>・避難勧告発令時の交通弱者支援体制</li> <li>・災害時対応業務継続計画（BCP）策定の進捗状況</li> </ul>	町長

順	質問者	件名	質問の要旨	質問相手
2	本願和茂 議員	2. 公共施設における温暖化対策について	<p>冷涼な気候で有名な高千穂町だが、ここ数年、夏場は熱中症患者が出るほどの猛暑日が観測されている。</p> <p>町内には保育園や小・中学校、病院や福祉施設など、子供や高齢者が利用する公共施設が多数あるが、夏場の高温対策は、どのように対応しているのか町長と教育長に伺います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・降雪量の減少、猛暑日の増加など温暖化が実感できるようになって数十年は経過していると思われます。</li> <li>老朽化が進む公共施設においても、施設利用者の負担軽減などから冷暖房設備が整備されていますが、今も冷暖房設備、温暖化対策がなされていない公共施設の状況は。</li> <li>・屋内の冷暖房設備設置による温暖化対策だけでなく、屋外活動時の熱中症対策などは、各施設、各課でどのように取り組んでいるのか。</li> <li>・環境や人体に配慮した高温対策として窓への網戸設置（害虫侵入防止）</li> </ul>	町長 教育長

順	質問者	件名	質問の要旨	質問相手
3	磯貝助夫 議員	1. 神話の里高千穂 マラソン大会の再開 について	<p>2014年4月まで開催されていた「神話の里高千穂マラソン大会」が、218号線日之影～高千穂道路の工事が行なわれており、これまで使用していた迂回路が使用できないため、大会を「休止」する運びとなりました。と、町ホームページに掲載されておりました。本マラソン大会は、25年の歴史を持ち、県内外のランナー達が高千穂の自然を満喫しながら健脚を競うハーフマラソンや、地元小・中・高学生が参加する3km・5kmマラソン、健康維持増進を図る健康ウォーク等の種目があり、町民はランナー達に声援・応援をして参加する、町民参加型のイベントでした。</p> <p>現在、野方野方面に抜ける道路（県道204号線下野鹿狩戸線）、神の里トンネル、岩戸坂トンネルが開通し迂回路が確保出来たものと思われます。</p> <p>また、スタート地点となるであろう、町陸上競技場を全天候型にすることで気候の変動に左右される事がなく、大会運営がスムーズになると思われます。</p> <p>合わせて、高校、実業団等の合宿地としてPRし、高千穂町の子供達がスポーツ選手とふれあい、スポーツに対する知識と技術の向上を図ることができると思われますが、町長のお考えを伺います。</p> <p>企画観光課へのお願い</p> <p>1 知りたい事項</p> <p>(1) 参加人員数の変動（できればパンフレットが欲しい）</p> <p>(2) 中止となった経緯</p> <p>(3) 工事中の218号線日之影～高千穂道路とは</p> <p>(4) 全天候型競技場費の概要（建設課？）</p> <p>(5) 大会運営にかかる収支内容</p> <p>(6) 合宿施設として利用できる施設等</p> <p>(7) 警察の見解は</p> <p>(8) 町民及び県内外ランナー等からの陳状等なかったか？</p> <p>2 その他</p> <p>(1) 協賛の状況</p> <p>(2) PR方法</p> <p>(3) 招待者の選出</p>	町長

順	質問者	件名	質問の要旨	質問相手
4	安在昭則 議員	1. 災害時における 緊急避難場所につい て	<p>現在災害、台風による緊急避難場所は6か所と聞いているが、避難場所の設定はどのような基準でなされているのか。</p> <p>確かに避難勧告とは、災害発生時やその恐れがあるとき住民に対してその地区からの立ち退きを求める措置であるから、拘束力はなく自主避難となるわけだが、地区によっては避難場所まで距離が遠く移動手段を持たない高齢者は避難したくても出来ないのが現状である。</p> <p>高齢者ほど避難が必要なはずである。何か行政で手助けできないものか。</p> <p>また避難所においても十分な設備が整っていない場所もあると聞く。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. トイレが和式の為高齢者は使用できない。</li> <li>2. 避難所では一番情報が欲しいのに、若者のようにスマートフォンを持たない年配者は、テレビ、ラジオがないため情報を得られない。</li> </ol> <p>以上対策可能か質問いたします。</p>	町長